非ホジキンリンパ腫

ＤＡ−ＥＰＯＣＨ−Ｒ 維持

患者ＩＤ： @PATIENTID　　1 コース目

患者氏名 ： @PATIENTNAME　　１ｺｰｽ：２１日間　　目標：４～８コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
HEIGHT01_Do	WHEIGHT01_Do	#VALUE!

ｱﾙｺｰﾙアレルギー
※必ず無しを確認

使用薬剤： リツキシマブ（Rituximab）：リツキシマブBS注 100mg／10mL／V、500mg／50mL／V
エトポシド（ＶＰ−16）：エトポシド点滴静注液　100ｍｇ/Ｖ/5mL
ドキソルビシン（ＡＤＭ）：ドキソルビシン塩酸塩注射用 10mg／V、50mg／V
ビンクリスチン（ＶＣＲ）：ﾋﾞﾝｸﾘｽﾁﾝ注 1mg／V
シクロホスファミド（ＣＰＡ）：ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ注 100mg／V、500mg／V
プレドニゾロン（ＰＳＬ）：20mg／A、10mg／A

使用基準： ＣＤ２０陽性のＢ細胞性非ホジキンリンパ腫

※ **Infusion reaction に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。**
重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック）
の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約９０％の患者で初回投与時に発現。

※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意（血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度）
腎不全、高Ｋ血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症

※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ ﾋﾞﾝｸﾘｽﾁﾝ　最大投与量；２mg/bodyを越えないこと

※ プレドニン　Ｂ型肝炎；核酸アナログ製剤を併用、糖尿病；減量もしくは中止

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍（PPIなど）、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※　Ｇ−ＣＳＦをＤａｙ6～nadir以降好中球数＞5000/μＬまで継続

薬　剤	投与量	計算値	20%減	20%増	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/㎡	#VALUE!				1
エトポシド	50 mg/㎡	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		4 ～ 7
ドキソルビシン	10 mg/㎡	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		4 ～ 7
ﾋﾞﾝｸﾘｽﾁﾝ	0.4 mg/㎡	#VALUE!				4 ～ 7
ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ	750 mg/㎡	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		8
プレドニン	60 mg/㎡	#VALUE!				4 ～ 8

<< **タイムスケジュール** >>　　**リツキシマブBS、ＥＰＯＣＨの開始時刻を別々に入力してください**

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日(Day1)；　**1月1日**　(火)

点滴前内服
① カロナール錠２００mg２Ｔ　１ｘ（１）
② ポララミン錠２mg１Ｔ　１ｘ（１）

0時00分　① 生理食塩液 100mL ＋ サクシゾン 300mg
30分で点滴静注

0時30分
② ５％ブドウ糖液　**0mL**
＋ **リツキシマブBS**　**0mg**　0.0mL
↓ 50ｍＬ/ｈｒで30分点滴静注
↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50ｍＬ/ｈｒずつ上げることができる
↓ 最大400ｍＬ/ｈｒまで上げることができる
徐々に投与速度を上げて点滴静注
※下記は2回目以降の投与
↓ 100ｍＬ/ｈｒで30分点滴静注
↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100ｍＬ/ｈｒずつ上げることができる
↓ 最大400ｍＬ/ｈｒまで上げることができる
③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day　4　**1月4日**　(金)
PICC①　PICC②

0時00分　① 生理食塩液 50mL ＋ ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ ＋ **プレドニン**　**0mg**
15分で点滴静注

0時15分
② 生理食塩液 500mL
＋ **エトポシド**　**0mg**　0.0ml
＋ **ドキソルビシン注**　**0mg**
＋ **ﾋﾞﾝｸﾘｽﾁﾝ注**　**0.00mg**
中心静脈ﾙｰﾄより輸液ポンプを使用し24時間

Day　5 ～ 7　**1月5日**　(土) ～ **1月7日**　(月)
PICC①　PICC②

0時00分　① 生理食塩液 50mL ＋ ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ ＋ **プレドニン**　**0mg**
15分で点滴静注

0時15分
② 生理食塩液 500mL
＋ **エトポシド**　**0mg**　0.0ml
＋ **ドキソルビシン注**　**0mg**
＋ **ﾋﾞﾝｸﾘｽﾁﾝ注**　**0.00mg**
中心静脈ﾙｰﾄより輸液ポンプを使用し24時間

Day　8　**1月8日**　(火)
PICC①　PICC②

0時15分　① 生理食塩液 50mL ＋ ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ ＋ **プレドニン**　**0mg**
15分で点滴静注

0時30分　② 生理食塩液 250mL ＋ ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ　**0mg**
30分で点滴静注

1時00分　③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

REFERENCE

Wyndham H.Wilson,Michael L..Grossbard,Stefania Pittaluga, et al　BLOOD, 2002; 99: 2685-2693
Dose-adjusted EPOCH chemotherapy for untreated large B-cell lymphomas:a pharmacodynamic approach with high efficacy
Wyndham H.Wilson,George Bryant,Susan Bates, et al　J Clin Oncol 11：1573-1582, 1993
EPOCH Chemotherapy:Toxicity and Efficacy in Relapsed and Refractory Non-Hodgkin's Lymphoma

2011年化学療法プロトコール審査委員会承認：2011年2月14日　更新:2018年9月10日